

2026 年度第二次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程後期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題 1

子どもの論理的思考促進のための教育的アプローチについて論ぜよ。



3枚中

1

2026 年度第二次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程後期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題2  
教育学（または心理学）の学際性（近接領域の学問との関連性）の現状とあるべき姿について、あなた自身の研究もふまえて、論ぜよ。

3枚中

2

2026 年度第二次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程後期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題3  
青年期における自尊感情の発達的变化について、実証的なアプローチを行うための研究デザインを組んで説明せよ。

3枚中

3

## 2026 年度 第二次 教育学研究科入学試験問題

### 博士課程後期課程／共生教育研究領域／専門科目（解答例）

#### 解答例

##### [問題 1]

子どもの論理的思考の概念を理論的・学術的な枠組みで位置づけて定義する。学習指導要領や社会的要請などに言及することより論理的思考の教育的必然性を示す。教科固有の論理構造、ICT による思考可視化などにも触れながら、メタ認知、対話的協働的学習、問題解決探求的学習等を視点として教育的アプローチを体系的に論じる。

##### [問題 2]

- ・教育学・心理学とはもともと学際的で、様々な近接領域の学問があることが説明する。
- ・教育学・心理学において理想的な学際性はどのようなものか、自分の考えを述べる。
- ・自らの研究において、自らが専門とする学問を説明し、その学際性と近接領域を説明する。

##### [問題 3]

観察法、質問紙調査法、あるいは実験法などにより得られたデータに基づき、仮説を検証する、もしくは探索的に研究する研究デザインを構築する。

- ①「自尊感情」に関する理論的知見を整理し、概念を明確化したうえで操作的定義を行う。
- ②「青年期」の範囲を発達段階として明示し、対象者を適切に設定する(例:横断研究あるいは縦断研究の選択)。そのうえで、観察・調査・実験などの方法によりデータを収集する。
- ③ 収集したデータの分析方法(例:平均値の比較、回帰分析、成長曲線モデルなど)を示し、想定される結果とその理論的含意を考察する。

発達的变化を扱う以上、時間軸をどのように扱うか(横断的か縦断的か)に言及できると、より適切な答案となる。

## 2026 年度 第二次 教育学研究科入学試験問題

博士課程後期課程／共生教育研究領域／専門科目（出題意図）

### 出題意図

#### [問題 1]

子どもの論理的思考の概念を教育学の理論に基づいて学術的に説明できるか、論理的思考を促進するために、教育課程に根差した教育的アプローチを教科固有性や現代的背景を踏まえて体系的に表現できるかを問う。

#### [問題 2]

教育学・心理学の学際性を認識し、自らの研究の基本となる「学問観」の一側面として学際性を考えているのかを問う。

#### [問題 3]

実証研究の基本構造を理解し、具体的な研究デザインを構築する能力があるかを問うた。観察や調査（場合によっては実験）のよって得られたデータを分析し、青年期における発達的变化を理論的枠組みに基づいて説明する構成力は、博士論文を執筆するうえで重要な資質である。

探索的研究であっても妥当であるが、自尊感情に関する先行研究を踏まえ、生涯発達における青年期の特徴や、国際比較における日本の青年の特徴などに基づいて仮説を設定し、検証型デザインを提示できれば、より高い評価に値する。